

令和4年度 埼玉県学力・学習状況調査の結果(桜ヶ丘小学校)

平均正答率

1 平均正答率と県の平均正答率との比較

教科	国語			算数		
	小4	小5	小6	小4	小5	小6
桜ヶ丘小	上回った	上回った	下回った	下回った	上回った	下回った
埼玉県	62.1	56.2	63.8	63.0	63.0	59.8

2 本校の学力レベルと県の学力レベル

教科	国語			算数		
	小4	小5	小6	小4	小5	小6
桜ヶ丘小	6-C	6-A	7-B	5-B	6-B	6-B
埼玉県	6-C	6-A	7-A	5-B	6-C	6-A

3 本校の学力の伸びと県の学力の伸び

教科	国語			算数		
	小4	小5	小6	小4	小5	小6
桜ヶ丘小		1.1	3.2		2.5	1.8
埼玉県		0.7	2.5		2.0	1.8

児童生徒質問紙調査の結果と分析

※質問事項は質問紙調査より抜粋したもの

※「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」を合わせた値(単位 %)

	質問事項	小4		小5		小6	
		桜ヶ丘小	埼玉県	桜ヶ丘小	埼玉県	桜ヶ丘小	埼玉県
生活習慣	・脱いだ履き物のかかとをそろえる	85.4	79.6	81.9	82.1	89.3	85.5
	・はっきりあいさつをすることができる	95.4	75.8	84.4	75.6	73.4	77.7
	・相手の気持ちを考え、やさしい言葉づかいができる	88.8	81.9	91.5	83.2	81.3	83.5
学習習慣	・勉強する前に、これから何を勉強しなければならないかについて考える	53.9	49.5	53.0	47.7	45.3	51.7
	・勉強をするときは、最初に計画を立ててから始める	56.2	42.3	42.2	41.6	45.3	44.3
	・休日などの学校が休みの日に1日当たり1時間以上勉強している(塾等を含む)	69.7	54.4	69.9	60.1	73.3	60.8
学習等への関心	・勉強することが楽しい、好き(勉強する理由として)	20.2	24.4	24.1	19.5	20.0	19.3
	・勉強は将来の進学や就職に役に立つ(勉強する理由として)	68.5	67.2	77.1	70.5	70.7	75.2
	・地域の歴史や自然に関心をもっている	86.5	75.5	79.6	72.8	69.3	63.5
ICTの活用	・昨年度の国語の授業で、ほぼ毎回タブレットを使っていた	28.1	18.6	26.4	18.3	16.0	19.5
	・昨年度の算数の授業で、ほぼ毎回タブレットを使っていた	24.7	14.6	16.9	13.4	12.0	14.8
	・昨年度、週2回以上、タブレットを家に持ち帰って、宿題含めて学習に利用した	48.3	24.3	53.0	24.4	40.0	24.0
その他	・自分には、よいところがある	85.4	79.9	80.7	78.2	78.6	77.6
	・難しいことでも失敗をおそれないで挑戦している	84.2	76.8	83.1	77.7	72.0	75.3
	・将来の夢や目標をもっている	88.8	86.9	100	87.6	82.7	81.9

【質問紙分析】

- ・「昨年度、週2回以上、タブレットを家に持ち帰って、宿題含めて学習に利用した」の割合が県の割合と比べて高いのは、職員研修等でタブレットの活用方法を共有し、工夫しながら実践してきた結果であると考えられる。
- ・「将来の夢や目標をもっている」の割合が県と比べて高いのは、「渋沢栄一翁の心を受け継ぐ深谷教育」を基に、2分の1成人式に取り組むなど、キャリア教育の充実を図

ってきた結果であると考えられる。

- ・「(勉強する理由として) 勉強することが楽しい、好き」の割合が県と比べて低いのは、勉強が将来につながるものの意識があまり高くないことなどが原因だと考えられる。児童は夢や目標をもつことはできているので、自己実現を図ることができるようモデルステップなど工夫した学習指導を丁寧に行い、勉強の有用性を適宜確認していく必要がある。

伸びが見られた学級・教科での取組

【学級】

- ・伸びが見られた学級では、学習規律を含めた学習環境の整備を、年間をとおして徹底した結果であると考えられる。
- ・伸びが見られた学級では、タブレットを効果的に活用して、コロナ禍でも児童同士の学び合い意見交換を積極的に行い、学習意欲を高めていた結果であると考えられる。

【国語】

- ・特に伸びが見られた学年では、漢字の読み書きなど基本事項の習熟の程度を、丁寧に見取った結果であると考えられる。
- ・特に伸びが見られた学級では、校内研究(国語)を基に指導方法を工夫し、指導事項を定着させることができたからであると考えられる。

【算数】

- ・全体的に伸びが見られたのは、苦手とする児童に対して、少人数制や休み時間に習熟度の程度や個に応じた指導を丁寧に行った結果であると考えられる。
- ・伸びが見られた学級では、丁寧な教材研究を基に授業を展開し、指導内容を明確にしたからであると考えられる。

一人一人をより伸ばすための取組

- ・全ての教科等の授業の中で、本時のまとめや振り返りを考えたり書いたりする時間を確保し、一人一人の言葉で表現する力を伸ばしていく。
- ・朝の学習タイムでコバトンプリント等を活用し、短所を克服したり、長所を伸ばしたりして個に応じた学力向上を図る。